

宮城県石巻市・震災復興学習支援 レポート⑬

私塾ネット 出前寺子屋 「検定合格講座」

◆活動報告その⑬[2012年2月19日]

2月19日、石巻市仮設開成団地 ささえあい拠点センター集会所を会場に13回目のスクーリングを開催した。この時期は受験シーズンの真ただ中とあって、私塾ネットのお仲間に無理はいえない。そこで今回は千葉から谷村志厚と和枝が参加し、現地でいつもお世話になっている木伏良明氏それに石巻市在住の佐久間昭一郎氏に加勢をお願いすることとなった。



出前寺子屋会場の拠点センター。職員が1人常駐。集会所は30畳程度か。

佐久間さんは市内港北地区で塾を開設されており、前回は奥さまの明秋さんにお手伝いをいただいた。地元の方の応援をいただくことは、まことに心強いしありがたいことである。

さて会場であるが、前はダブルブッキングで会場変更を余儀なくされ、思わぬトラブルに翻弄されたのだが、今回はホームグラウンドの拠点センターとあってひと安心である。

午後2時、開会のセレモニーのなかで、11月検定合格者のうち親子や兄弟そろって合格をされた方々に「家族合格証書」を授与した。母親と中2、小6の娘さんで準2、3、4級を修得したHさん、母親と専門学校1年の娘さんで2、3級を修得したWさん、中2の兄と小5の兄弟で4、7級に合格したEさんの3家族が表彰の対象であった。事前の予告なしのサプライズであったのだが、対象者の皆さんはたいへん喜ばれ、講習生からは大きな拍手が贈られた。

ところで、この日の漢検講座の目玉は第3回漢字検定の自己採点をし合否の判断をすることであった。そしてその結果を受けて、今後の取り組み、つまり6月の漢検に挑戦するかどうか皆さんの意向を伺うことであった。標準解答をお配りして自己採点となった。皆さんそれぞれの手ごたえは感じているのだろうが、不安と期待のこもった真剣そのものの表情で赤ペンを走らせた。

採点集計が終わったところでこれをチェックする役割を木伏、佐久間両先生をお願いをした。慎重な審査の結果、おおむね次のような結果であった。

驚きの平均点174点、合格率9割突破か！？



採点を審査する木伏、佐久間両先生。

受検者24名中合格圏内にある方21名、合格線にあって合否が断定できない方2名、合格点に満たない方1名。24名の平均点は、200点満点で174点と好成績であった。なかでもひと際注目をあびたのは、小6Mくんの準2級196点という驚異的な得点であった。ところで、皆さんの成績を1月8日の模擬テストと比較すると、ほぼ20点程度得点が上昇していることが分かる。さらに、11月の検定からわずか3ヶ月の準備期間しかなかった点を考慮すると、大いに評価できる内容といえよう。同時期に実施した自塾生徒の成績に比べその優秀さは比較しようもない。学びのモチベーション、寺子屋講座のなかで生まれた友好的な競争原理、それらの成果がこの結果であろう。この経験を自塾での今後の取組みに活かしたいと思う。



小学生と大人が席を並べて採点。

英検講座始まる、5級、4級講座からスタート。

さてこの日のもうひとつの活動が、英検対策講座の開講であった。漢検受講生の要望をうけて、ひとまず小6年生向けに5級、中1、2および一般人対象に4級講座を開始した。指導を担当した谷村和枝は、自塾で実施している「土曜キャリアアップ講座」の経験を生かし、月2回のスクーリングで英検対策が完結するよう、自学自習にポイントをおいた英検講座プログラムを組み立て

出前寺子屋 in 石巻「検定合格講座」の仕組み

活動期間：第Ⅰ期 2011年8月16日～2012年2月4日

第Ⅱ期 2012年2月19日～6月9日

①スクーリング（漢検・英検学習）

8月16日、9月4日、18日、10月2日、16日、11月5日、20日、12月11日、24日、1月8日、22日、2月4日、2月19日、3月4日、18日（会場確定分）

②会場 仮設開成ささえあい拠点センター集会所

③検定受検

平成23年度第3回漢検2012年2月4日

平成24年度第1回漢検2012年6月2日

平成24年度第1回英検2012年6月9日

④受講対象者 仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民

⑤受講者特典 教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料

た。スタートは5級に小6生徒4名、4級に5名の講習生といったこじんまりとしたすべり出しである。ちなみに4級受講生の内訳は中1、2生徒3名に一般2名で、大人の方はともに漢検2級を終了し、さらに学びたいとの意欲で参加をされたのである。



漢検合格を確信してフラワーアレンジメントを楽しむご夫婦と講座のお仲間。

初日はまず5級を、漢検講座の始まる30分前に開始し60分の講座である。途中一輪ぎしのフラワーアレンにメントで一息入れ、3時から60分の4級講座を実施した。5級は座卓を囲んでの対面指導、4級は椅子テーブルを使つてのゼミ形式での指導であった。まずは6月実施の第1回英検を第一関門に、引き続き10月の第2回検定突破を一期生の目標に進めることになる。息の長い支援活動がこれからも続くことだろう。引き続き皆さんのご理解とご支援をお願いしたいと思う。



谷村志厚(AIM学習セミナー)

英検5級をスタートした小6年生グループ。

23年度第3回漢字検定受検者24名の内訳
2級 - 4名、準2級 - 10名、3級 - 4名、4級 - 1名、5級 - 5名、6級 - 1名、7級 - 1名（小中学生9名、一般15名）

23年度第2回漢字検定合格者17名の内訳
2級 - 2名、準2級 - 2名、3級 - 8名、4級 - 3名、6級 - 1名、7級 - 1名（小中学生7名、一般10名）

ご支援ありがとうございます

当活動は支援参加者個人の負担と、ご援助をいただいた皆さんの浄財で運営しております。平成23年10月23日以降平成24年2月20日現在で、15の塾および学校さんから、総額301,438円の献金をいただきました。ありがとうございます。引き続き応援をお願いします。支援金の使途は、検定料、教材費の直接費用と市内移動交通費、通信費、スタッフ昼食費の間接費用にかぎり計上させていただいています。

主催：全日本私塾教育ネットワーク（略称・私塾ネット）